

# 2020年度 法科大学院

## 第5期入学試験問題

### 3 時限

### 刑法

### (論文式)

## 試験時間 50 分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [刑法]

次の事例におけるXの罪責について検討しなさい。なお、故意犯の成立を認める場合には、故意と構成要件該当行為が認められる理論的根拠について、ありうる反論を想定したうえで、的確に示しなさい。

1 暴力団甲組の組長Xは、同組幹部のAが対立する暴力団乙組に情報提供していることを知り、Aを睡眠薬で眠らせておいてから車ごと崖から転落させて殺害する計画を立てた。

2 Xは、適当な口実を設けてAを車で連れだした。

途中、コンビニエンスストアでカップ入りのホットコーヒー2杯を購入し、そのうちの1杯にあらかじめ用意しておいた睡眠薬5錠分の粉末を混入させておいたうえで、Aに飲ませた。Aは、Xの意図に気付くことなくこれを飲み干し、車内で昏睡状態に陥った。

3 Xは、Aが昏酔状態にあるのを確認したうえで、夜間は車がほとんど通らない海沿いの道を運転して崖に面した場所に赴き、車ごとAを海中に沈めようと考えて運転を続けた。しかし、崖に面した場所に到着する少し手前の、海に面した急カーブのあるところで、Xはハンドル操作を誤り車はガードレールに激突した。Xはハンドルを握っていたので少し怪我したものの助かったが、Aはフロントガラスを突き破りその時に生じた怪我からの出血が原因で死亡した。

なお、Aが服用した睡眠薬の1回分の通常使用量は1錠であるが、5錠を一度に服用した場合には、昏睡状態には陥るものの死亡する可能性までではなく、また、Xも、上記睡眠薬入りコーヒーを飲んだだけでAが死亡することはないものと思っていた。

(解答は全て解答用紙に記入すること)